

## 9 麻酔科

選択研修（1ヵ月以上）

### （1）一般目標

麻酔科医として必要な基礎的な知識・技術を習得し、基本的症例の麻酔管理を行い、周術期における包括的患者管理法を理解する。

### （2）行動目標と実践（OJT）

#### 1) 診断力の習得

- ①麻酔器、モニターの基礎知識を習得する。
- ②筋弛緩剤の基礎的知識を習得する。
- ③血管収縮剤の基本的使用法を習得する。
- ④基本的麻酔剤の適応を理解する。
- ⑤基本的麻酔剤の呼吸循環作用を理解する。
- ⑥術前患者の評価法を理解する。（患者履歴、理学所見、検査所見）
- ⑦清潔操作を理解する。
- ⑧ASA 1 患者の麻酔管理（麻酔導入、維持、覚醒、回復室での管理）を最小限の上級医の補助で行う。
- ⑨適切に術後訪問を行い、一般的な麻酔合併症に対処できる。
- ⑩通常症例における血行動態評価と輸液管理ができる。（血液、膠質駅、電解質液）
- ⑪上級医とともに術中の基本的合併症（低酸素血症、低血圧、高血圧、不整脈、無尿）を発見、治療できる。
- ⑫患者と適切な会話ができる。
- ⑬外科医、看護師その他の医療従事者と患者管理について適切に会話できる。
- ⑭自らの患者ケア、医療が他の分野にどんな影響を及ぼし、それが結果的に自らの医療にまで反映してくるかを理解する。

#### 2) 治療の実践

- ①できるだけ多くの麻酔症例を経験し、手術患者の全身管理に必要な知識と手技を習得する。特に、手術患者の気道管理の重要性を認識し、循環動態の急変に対応することで救急蘇生法を含め、一般患者の急変に対する救急処置ができるようにする。
- ②通常症例に置いて適切な時間で麻酔器等の点検、準備ができる。
- ③通常症例においてマスクを喚起、気管内挿管が行える。
- ④最小限の上級医の補助で末梢動脈、中心静脈、動脈にカテーテル挿入ができる。
- ⑤動脈圧モニターの基本的構造を理解し、誤作動を修復できる。
- ⑥適切で簡潔な術前、術中、術後記録を記載することができる。
- ⑦中等度困難手術において、ASA1-3 患者の麻酔管理を包括的に説明できる。

### 【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診
午後	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診	各科手術の麻酔 および 術前術後回診

毎朝 8 時 20 分からのカンファレンスに参加